

親子料理教室をひらきました

PTA 厚生部あいあい活動「親子料理教室」を11月21日(土)に開きました。小学部から高等部まで31名の参加があり、ポップコーン係、フルーツヨーグルト係、サンドイッチ係に分かれ、わきあいあいとお料理に挑戦。



高等部のお姉さんが焼いてくれた卵焼きをレタスやハムと一緒にはさんだサンドイッチなど、みんなで力をあわせて作った後は、早速声をそろえて「いただきます」の御挨拶。「おいしいね」「おなかいっぱい」という声もあちこちで聞こえてきました。



図書館教育の取り組みについて

毎日の生活の中で文字に触れない日はありませんね。生きていく上で大切な、豊かな心を育むために本の有効な活用を目指しています。今年度の取り組みについて紹介します。

月1回、地域の方々(御南公民館ボランティア『わくわく文庫』様・御南小『ききみみうさぎ』様・西小『Great-ma』様)に御協力いただき、『おはなしの時間』を開催しています。小学部・中学部の子どもたちが大好きな絵本を、情感豊かに読み聞かせてくださっています。心がほっこりする大好きな時間となっています。



大好きなお話の時間

高等部では文化委員会を中心に、クラスの友達に本をたくさん読んでもらおうとがんばっています。どんな本に興味があるのか尋ねたり、文化委員会のメンバーが読んで欲しい本をセレクトしたりして、週1回ある委員会の時間に学級文庫の本を借りる活動に取り組んでいます。また、小学部の子どもたちを招き『文化を楽しむ会』を開催しました。紙芝居の読み聞かせ、マジック、手遊びなど素敵な企画を見事にやり遂げました。



紙芝居の読み聞かせ

全校の取り組みとして、月1回壁新聞を発行しています。子どもたちの大好きな本、先生方のおすすめの本を紹介しています。校長室前とプレイルーム前の掲示板に掲示しています。学校にお立ち寄りの際は、ぜひご覧ください。

今年度の各部における ICT を活用した学習について

今年度、iPad を各クラスで活用できるように台数を増やし、校内の無線 LAN の環境を整備しました。各部における ICT を活用した学習の様子をお知らせします。



国語・算数での活用

（小学部）これまでも、部全体で行う「学部集会」や、各行事の導入・振り返りなどの場面で積極的に情報機器を活用してきました。また、各教科での取り組みとして、パソコンとプロジェクター、iPad を「国語・算数」のグループ別学習に取り入れています。児童が好きなキャラクターを画面に表示したり、インターネットの動画やアプリから流れる音声をその場で流したりして学習を進めることで、どの児童も興味をもって楽しみながら授業に参加する姿が見られています。今後とも、児童自身が iPad 等を有効に活用していけるような取り組みを進めていきます。



動画を見ての学習



VOCA としての活用

（中学部）日常生活や授業などの場面で iPad を活用しています。1 年生では朝の会や帰りの会で、『ねえ、きいて』という VOCA アプリを使用して司会をしています。教師の示したイラストを頼りに、順番通りにアイコンを押すことで、役割を果たすことができるようになりました。西支援祭では『レジスタディ』というレジアプリを使用して、バザー学習に取り組む生徒もいました。商品の合計金額やおつりの計算を行い、次々と押し寄せるお客さんを待たせることなく、正確にレジの仕事を行っていました。中学部では今後も ICT を活用していき、生徒が活躍することができる場面を増やしていきます。



西支援祭の様子



これは何でしょう

（高等部）iPad の活用は昨年度以上に、授業の中で一層の広がりを見せています。基礎学習では、自分たちが新聞を読んで興味をもった記事を iPad で撮影し、グループで発表しあっています。また「この写真は何の記事でしょう？」という授業では、情報を小出しにしながらクイズ形式で学習する展開にすることで、生徒たちも興味関心をもってしっかり考える様子が見られました。美術のデッサンでは友だちの顔や手など、長い時間静止させておけないので、自分たちで写真を撮って、それをモチーフにしました。角度など静物の撮り方にも新たな発見があるなど、生徒たちにとって思わぬ気づきにつながっています。



TV を通して「いらっしゃいませ」

（訪問部）訪問部の児童生徒は、家庭や療護センター等、それぞれの場所で学習していますが、iPad 等の機器を使うことで、友だちや集団、外の世界とのつながりを感じられるような工夫をしています。西支援祭のプレバザーでは、療護センターと本校の会場をフェイスタイムで中継し、「訪問テレビショッピング」を行いました。高等部の友だちや、先生たちと直接通信をして交流できたり、自分たちが作った商品を買ったりでき、場所は離れていても、近くに感じることができました。iPad をコンサートの中継、転校した友だちとのテレビ電話、ブログ発信等、つながりを感じることができる活動の手段として、また、VOCA 等、自分のできる表現手段として、生活を豊かにする方法を広げていきます。



フェイスタイムで交流